

総合的な 学習の時間	第5学年	呉市立天応学園	指導者 福間 大地 (T1) 開内 佑樹 (T2)
単 元 名	食品ロスを減らせ！ ～ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></span> プロジェクト～		令和6年 11月 27日 (水) 5A教室 計30人

「本質的な問い」・「単元を貫く問い」について																			
本質的な問い	食べるとはどういうことか。																		
単元を貫く問い	食品ロスを減らすために私たちができることはなんだろう。																		
単元（題材）について 【単元観】																			
<p>本単元では、児童にとって身近な「食」をめぐる問題とそれに関わる人々、地域の生産者や販売者の思いや取組を探究課題として設定する。</p> <p>食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことである。日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は472万トン。これは世界の中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量（2022年で年間480万トン）とほぼ同等に相当する。（消費者庁HPより）これは、社会の変化に伴って切実に意識されるようになってきた諸課題である。</p> <p>「もったいない」という視点だけでなく、社会科で学習する「食料問題」、「環境問題」、「エネルギー問題」とも関連付けて考えることができる課題である。「食」に関わるこれらの課題が現代の解決すべき喫緊の課題であることを自覚し、自分のこととして考え、よりよい解決に向けて行動することが望まれている。解決が困難な課題ではあるが、それに取り組もうとする探究活動を通して資質・能力を育成していくことは大きな意義があると考える。</p>																			
児童について 【児童観】	指導の工夫について 【指導観】																		
<p>次の表は、本単元の学習に入る前に実施したアンケート結果を集約したものである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No</th> <th style="width: 70%;">質問内容</th> <th style="width: 25%;">肯定的回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>課題解決のために、必要な情報を集める方法を考えている。</td> <td>93.1%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>課題解決のために進んで資料を集めたり取材をしたりしている。</td> <td>86.2%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。</td> <td>79.3%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしている。</td> <td>89.6%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>失敗を恐れず、粘り強くいろいろなことにチャレンジしている。</td> <td>75.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">（令和6年5月23日実施）</p> <p>アンケート結果から、課題を解決するために情報収集の方法を考えることができる児童の割合は約93%いる一方で、失敗を恐れず、粘り強くいろいろなことに挑戦する児童の割合は75%にとどまった。児童は情報収集力を生かしながら、課題解決への挑戦心を高めていく必要があるといえる。</p> <p>給食を残さず食べる児童が多い一方で苦手な食べ物が出たときには躊躇せずに残す児童も見られる。また、食に関して、「食べ物を残すことはもったいない。」「食べ物や調理した人に感謝して食べるべき。」と考えている児童が多いが、食べ物を残すことによる影響まで理解している児童は少ない。</p>	No	質問内容	肯定的回答	①	課題解決のために、必要な情報を集める方法を考えている。	93.1%	②	課題解決のために進んで資料を集めたり取材をしたりしている。	86.2%	③	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。	79.3%	④	授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしている。	89.6%	⑤	失敗を恐れず、粘り強くいろいろなことにチャレンジしている。	75.8%	<p>本単元の指導に当たっては、児童のより主体的な学習に繋がるようにするために、3つのことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入時に、国連WFP協会の「命がけの行列」の動画を児童に提示する。これは、食料援助を待っている人が8億2800万人いることを表した動画である。その後、まだ食べられる食品を捨てている様子の写真を提示し、児童がずれを感じ課題意識をも持てるようにする。</li> <li>・地域や社会をよくするというという視点をも持つことができるために、情報収集の際に生産者や販売者の話を聞いたり実習を行ったりすることで、食に対する見方や考え方を広げる。また、自分たちが考えた解決策を実際に地域社会に広げる活動を行う。</li> <li>・「友達と話し合うことで自分の考えを深めたり広げたりすることができる児童が多い」というよさを生かし、グループや全体で話し合う場を効果的に位置付け、思考、表現の質を高める。また、児童が失敗を恐れず課題解決にチャレンジできるように、活動形態を工夫し、児童が安心して学習に取り組みやすくする。</li> </ul>
No	質問内容	肯定的回答																	
①	課題解決のために、必要な情報を集める方法を考えている。	93.1%																	
②	課題解決のために進んで資料を集めたり取材をしたりしている。	86.2%																	
③	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。	79.3%																	
④	授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりしている。	89.6%																	
⑤	失敗を恐れず、粘り強くいろいろなことにチャレンジしている。	75.8%																	

## 1 単元目標

食品ロスの問題の解決に向けた活動を通して、食品ロスの問題が、自分、家庭、地域に関わる身近な問題であることに気付き、食に関わる人の思いや取組について理解し、食の大切さを感じながら社会の一員としてその解決に向けた方策を考えるとともに、自己の生活や行動に生かすことができるようにする。

## 2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 食品ロスの問題が、自分、家庭、地域に関わる身近な問題であることに気付くとともに、食に関わる人の思いや取組を理解している。 <b>【知①】</b> ② 体験活動を通して感覚や情報を得たり、問いに対して図書やインタビュー活動、ICTの活用等、適切な文字や数値等として情報を得たりしている。 <b>【知②】</b> ③ 食品ロスの問題が自分たちの身近な問題であることへの理解は食と自分、家庭、地域との関係を探的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 <b>【知③】</b>	① 世界の食糧問題と食品ロスの現状から課題を設定し、解決の見通しをもって学習計画を立てている。 <b>【思①】</b> ② 身近な食品ロスの現状を捉えるために、手段を選択して多様な方法で収集したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。 <b>【思②】</b> ③ 課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。 <b>【思③】</b> ④ 食品ロスを減らすために、調査結果を図やグラフ、写真を使って効果的に表し、ポスター等にまとめている。 <b>【思④】</b>	① 課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。 <b>【態①】</b> ② 食品ロスを減らすことに向けた探究的な活動体験を通して、自分と異なる友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 <b>【態②】</b> ③ 食品ロスを減らすために自分のできることに取り組むことを通して、自分と身近な食との関わりを見直そうとしている。 <b>【態③】</b>

## 3 単元の計画 (全 50 時間) ㊦㊧㊨

次	時	学 習 内 容	評 価 規 準			他教科等との関連
			知	思	態	
第一次	1 2	<b>課題の設定</b> ・「食品ロス」に関する気付きや疑問等から課題を設定する。 課題① 給食の残食を減らすために校内で呼びかけをしよう。	①	①		社会科 「わたしたちの生活と食料生産」
	3 4 5 6 7 8 9	<b>情報の収集</b> ・学校における食品ロスの実態を知るためにはどのような方法で情報を収集したらよいかを考える。 ・全校児童生徒に行う給食に関するアンケートの内容を考える。 ・給食の残食の量を調べ、重さや写真、中身等を記録する。 ・給食を作っている人の思いを知るために、給食調理員にインタビューする。	②	②		国語科 「知りたいことを聞き出そう」

第二次	10 11 12 13 14 15	<b>整理・分析</b> ・収集した情報を整理・分析し、自分のグループが伝える学年に何をどのように伝えるかを考える。 ・校内の給食の残食の結果を基にどんなことを考えたかを整理し、気づきをまとめる。	③	③	行動・発言 ワークシート 振り返り	
	16 17 18 19 20	<b>まとめ・表現</b> <b>実行</b> <b>振り返り</b> ・給食の残食を減らすためにできることを考え、ポスター等にまとめたことを他学年に向けて発表する。 ・他学年に向けた発表を終えて、得たことや考えたことを整理したりまとめたりする。	④	③	行動・発言 ワークシート 制作物 振り返り	学級活動 「バランスよく食べよう」
	21 22	<b>課題の設定</b> ・第一次で学習した学校や家庭での食品ロスを減らす方法について振り返り、消費者庁主催の『めざせ！食品ロス・ゼロ』川柳コンテストに応募する。 ・日本の食料問題を知り、新たな課題を設定し、学習計画を立てる。	①	①	行動・発言 ワークシート 振り返り	
	課題② 日本にはどんな食料問題があるのだろうか。					
	23 24 25 26 27	<b>情報の収集</b> ・「食料自給率」、「農業や漁業の従事者の高齢化」など、日本の食料問題について調べる。 ・「地産地消」、「商品のブランド化」について知り、広島や呉で生産されている食品を調べる。 ・ゲストティーチャーから「食品ロス」、「地産地消」、「未利用魚や規格外野菜」について話を聞く。	②	②	行動・発言 ワークシート 振り返り	社会科 「わたしたちの生活と食料生産」 算数科 「割合②」 「割合のグラフ」 国語科 「知りたいことを聞き出そう」
28 29 30	<b>整理・分析</b> ・体験活動や調査して分かったことを整理する。 ・取組案の理由や根拠を明確にさせて、取組案を考える。		③	行動・発言 ワークシート 振り返り		
31 32 33 34 35	<b>まとめ・表現</b> <b>実行</b> <b>振り返り</b> ・第二次で学習したことを動画にし、校内で発表する。 ・「天応学園 食べて元気になろう川柳コンテスト(仮)」の開催を全校に呼びかける。 ・校内での発表を終えて、得たことや考えたことを整理したりまとめたりする。			②	行動・発言 ワークシート 制作物 振り返り	国語科 「提案します、一週間チャレンジ」

	36 37	<b>課題の設定</b> ・第二次の学習を振り返る。 ・食品ロスを減らすために、これまで得た情報を基に自分たちができることを考える。		②	行動・発言 ワークシート 振り返り	社会科 「わたしたちの生活と食料生産」
		課題③ 食品ロスを減らすために <input type="text"/> に取り組もう。				
第三次	38 39 40 41 42	<b>情報の収集</b> ・課題解決に必要な情報の収集をする。		②	行動・発言 ワークシート 振り返り	家庭科 「食べて元気に」
	43 44 45	<b>整理・分析</b> ・自分たちが考えた解決策が実現可能かどうかを分析し、改善する。		③	行動・発言 ワークシート 振り返り	
	46 47 48 49 50	<b>まとめ・表現</b> <b>実行</b> <b>振り返り</b> ・自分たちが考えた解決策を実際に地域社会に広げる。 ・単元全体の振り返りをする。	③	③	行動・発言 ワークシート 制作物 振り返り	

#### 4 本時に関わる単元ルーブリック

観点	主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	食品ロスを減らすことに向けた探究的な活動体験を通して、自分と異なる友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。態②	
ルーブリック	A	B
	食品ロスを減らすことに向けた探究的な活動体験を通して、得た情報と自己の考えを照らし合わせ、自分と異なる友達の考えを生かしながら、協働して積極的に課題解決に取り組もうとしている。	食品ロスを減らすことに向けた探究的な活動体験を通して、自分と異なる友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。

5 本時について (本時 36/50)

(1) 本時の目標

これまでに行った食品ロスを減らすための自己の取組や日本の食料問題と社会での取組を振り返り、新たな課題を設定することを通して、食品ロスを解決するための探究的な学習の見通しをもつことができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点	◎評価規準 (評価方法) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て
知る	<p><b>課題の設定</b>    <b>情報の収集</b></p> <p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてを設定する。</p>	<p>◇ これまでの学習の足跡から、日本の食料問題と社会で取り組まれていることを整理できるようにする。</p> <p>◇ 食品ロスを減らすために、地域の一員として何ができるか考えていけるようにする。</p>	
<p>(めあて) 食品ロスを減らすために自分たちができることを考えよう。</p>			
確かめる・深める	<p><b>整理・分析</b></p> <p>3 これまでの学習を基に、自分たちには何ができるかを話し合い、新たな課題を見つける。</p> <p><b>【中心発問】</b> 食品ロスを減らすために、これまで学習したことを生かして自分たちにはどのようなことができるでしょうか。</p> <p>4 取組の意見を出し合う。 ・グループで意見を出し合う。 ・全体で意見を出し合う。</p> <p><b>【予想される課題 (例)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスを減らす方法呼びかける。</li> <li>・地産地消の良さをもっと知ってもらう。</li> <li>・西村さんのような農家の苦労や思いを広める。</li> <li>・給食の献立を考えてみんなに食べてもらう。</li> <li>・天本さんのように、食に関する問題を解決につながるメニューを開発する。</li> <li>・天応でできた未利用食材を使って自分たちで作ってみたい。</li> </ul> <p><b>【切り返し発問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習があったからこそできる取組はありますか。</li> <li>・これまでの学習を生かした取組はありますか。</li> </ul> <p>課題③ 食品ロスを減らすために <input type="text"/> に取り組もう。</p>	<p><b>(深い学びにするための「しかけ」)</b> これまでの学びの足跡を掲示することで、児童の学びを基に新たな課題を設定できるようにする。</p> <p>◇ 自分と異なる友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組むことができるように、多様な考えを尊重し、活発な意見交流ができるようにする。</p> <p>◇ 児童が考えた新たな課題について、これまでの学習とのつながりや関わってきた人たちの思いを踏まえて発表できるようにする。</p>	<p>◆掲示物や振り返りの記述からこれまでの学習を想起させる。</p>

	<p>5 取組を決めていく際のポイントを考える。</p>	<p>◇ 出てきた取組案から、どの案を課題として設定するかを考える視点を持つことができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【予想される視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちがやってみたいことか。</li> <li>・食品ロスを減らすことに効果的か。</li> <li>・自分たちが取り組めることか。</li> </ul> </div>	
<p>振り返る</p>	<p><b>振り返り</b></p> <p>6 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<p>◇ 本時の思考の過程を振り返り、次時以降に考えていくべき課題を確認できるようにする。</p> <p>◇ 今回の授業で気付いたことや感じたこと、今後取り組んでいきたいことについて記述できるようにする。</p>	<p>◎ 食品ロスを減らすことに向けた探究的な活動体験を通して、自分と異なる友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 (振り返り) <b>態</b>②</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(振り返りの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人に呉の特産物を紹介し、地産地消を進める取組を発表すれば、地域の人と一緒に食品ロスについて考えることができそう。</li> <li>・西村さんのような天応で農業をされている人の思いや苦勞を広めることで、もっと食品を大切に食べていこうとする人が増えると思う。</li> <li>・食品ロスを減らすには地産地消が効果的なので、天応で生産されたものを使った料理を作り、地域の人に食べてもらいたい。</li> <li>・自分たちの実習で、未利用食材でもおいしく食べるのができたので、おうちの人や地域の人にも食べてもらえる取組をしたい。</li> <li>・天本さんのように廃棄されるものを生かした調理をすることが身近なところでも広がると、食品ロスが減っていくと思う。</li> <li>・これまで学習したことを生かしたレシピを考えることは、自分たちでもできそう。</li> </ul> </div>			

## 6 本時の板書計画 等

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">         食品ロスを減らすために自分たちができることを考えよう。       </div> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>【これまでの学習をふり返って】</p> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品ロスを減らす方法呼びかける。</li> <li>・地産地消の良さをもっと知ってもらおう。</li> <li>・西村さんのような農家の苦勞や思いを広める。</li> <li>・給食の献立を考えてみんなに食べてもらおう。</li> <li>・天本さんのように、食に関する問題を解決につながるメニューを開発する。</li> <li>・天応でできた未利用食材を使って自分たちで作ってみたい。</li> </ul> </div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>課題 食品ロスを減らすために <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 80px; height: 15px;"></span> に取り組もう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【取組を決めるポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちがやってみたいことか</li> <li>・食品ロスを減らすことに効果的か</li> <li>・自分たちが取り組めることか</li> </ul> </div>
---	---